

昨年12月21日、第2回ジャパンSDGsアワードの授賞式が開催されました。
アワードはSDGsの達成に向けた優れた取組を表彰し、オールジャパンでの取組みを促すためのものです。そこで今回は、地域企業等の受賞例を紹介します。

第2回ジャパンSDGsアワード受賞団体

配付資料2

本部長（総理大臣）賞

株式会社日本フードエコロジーセンター

副本部長賞 （内閣官房長官）

- ・ 日本生活協同組合連合会
- ・ 鹿児島県大崎町
- ・ 一般社団法人ラ・バルカグループ

副本部長賞 （外務大臣）

- ・ 株式会社LIXIL
- ・ 特定非営利活動法人エイズ孤児支援
NGO・PLAS
- ・ 会宝産業株式会社

SDGsパートナーシップ賞（特別賞）

- ・ 株式会社虎屋本舗
- ・ 株式会社大川印刷
- ・ SUNSHOW GROUP
（三承工業株式会社・NSUNSHOW株式会社）
- ・ 株式会社滋賀銀行
- ・ 山陽女子中学校・高等学校地歴部
- ・ 株式会社ヤクルト本社
- ・ 産科婦人科館出張 佐藤病院
- ・ 株式会社フジテレビジョン



本部長賞 （内閣総理大臣）

株式会社日本フードエコロジーセンター



<取組概要>

- ・ 「**食品ロスに新たな価値を**」という企業理念の下、食品廃棄物を有効活用するリキッド発酵飼料（リキッド・エコフィード）を産学官連携で開発し、**廃棄物処理業と飼料製造業の2つの側面を持つ新たなビジネスモデルを実現**。
- ・ 国内で生じる食品残さから良質な飼料を製造し、輸入飼料の代替とすることで、飼料自給率の向上と共に、**穀物相場に影響を受けにくい畜産経営を支援し、食料安全保障に貢献**。
- ・ **同社の飼料を一定割合以上用いて飼養された豚肉をブランド化し、養豚事業者や製造業、小売り、消費者を巻き込んだ「継続性のある「ループサイクル（循環型社会）」を構築**。

SDGs実施指針における実施原則（アワード評価基準）

普遍性	食品廃棄物を有効活用するリキッド飼料化事業は国内外における食品ロス対策のロールモデルとなり得る。
包摂性	社内において障がい者、高齢者人材雇用等幅広い人材の参画に努めている。
参画型	多くのステークホルダーと協働して継続性のある「ループサイクル」を構築している。
統合性	廃棄物処理業と飼料製造業の両面をもつことから、小売や外食といった他業種をはじめ多様なステークホルダーの結節点となっている。
透明性と説明責任	行政や排出事業者の視察に積極的に対応するほか、飼料の品質は定期的に第三者機関で検査を行い、開示している。

貢献する目標（SDGs）



<取組概要>

- SDGs発信基地を地元岐阜市にオープンし、地方中小企業がSDGs達成に向けて積極的に取り組み、企業成長につながる先進的な事例を示しているほか、同社自らがモデルとなり、全国にそのノウハウ提供と推進を図っている。
- 低所得者や外国人などマイホーム取得が困難な世帯のマイホーム建設を実現し、貧困からの脱却や地域コミュニティの関係強化を支援。
- 持続可能な企業成長を可能にするため、ステークホルダーの家族を含むダイバーシティ推進グループを組織し、子連れ出勤やキッズスペースの設置、風土改革や休み方改善、社員の表彰制度の整備などを実施した。

<選出のポイント>

- 地域の中小企業が女性活躍の促進やSDGsの普及啓発などに総合的かつ積極的に取り組む。



貢献する目標 (SDGs)



SDGs実施指針における実施原則 (アワード評価基準)

普遍性	SDGsの取組と企業成長が結びつく先進的な事例として、国内外の企業のロールモデルとなり得る。
包摂性	低所得者や外国人支援、女性活躍推進、働き方改革を従業員や家族、関係協力業者も含めて包摂的に取り組んでいる。
参画型	地域の発信拠点において地域住民を対象にワークショップを開催するなど教育機会の創出を図っている。
統合性	事業それぞれの取組が有機的に連動し、地域社会を巻き込みながら、SDGs達成に向けた取組を進めている。
透明性と説明責任	自社HPにSDGs特集ページを開設し、情報発信。



<取組概要>

- 2017年11月に「しがぎんSDGs宣言」を表明。
- 地方銀行として初めてSDGsに貢献する新規事業に対し、金利を優遇した融資商品を提供。
- ニュービジネス奨励金として「SDGs賞」を新設。社会的課題解決を基点とするビジネスモデルを後押し。
- SDGs私募債の取扱い。私募債発行企業に「SDGs賛同書」を提出してもらうことでSDGsを普及啓発。私募債発行額の一部を銀行が拠出し、社会的課題解決を目指すNPOへの寄付、学校への物品寄贈等に活用。

<選出のポイント>

- 地域金融の拠点として早くからSDGsを経営に取り込む。



貢献する目標 (SDGs)



SDGs実施指針における実施原則 (アワード評価基準)

普遍性	地域とともに歩む銀行として今後各地方金融機関におけるロールモデルとなり得る。
包摂性	金融サービスの提供を通じて地域のどの分野も取り残さないようビジネスのサポートを実施。
参画型	行政や企業も巻き込んだ取組を展開。
統合性	「地域経済」「地球環境」「多様性」をメインテーマに掲げ、それぞれが有機的に関連した取組を展開。
透明性と説明責任	「しがぎんSDGs宣言」を表明するとともに、SDGs関連サービスについてもプレスリリースを通じて公表している。

